



鹿骨東小学校



鹿骨東小学校公式ホームページ <http://edogawa.schoolweb.ne.jp/shishibonehigashi-e/>

SNSの危険性から子供たちを守る

鹿骨東小学校 校長 中田 伸代

最近、SNSで集められた中学生が闇バイトで強盗をしようとして逮捕されるというショッキングな事件がありました。まだ未熟で、判断力のない子供たちが、SNS（ソーシャルネットワーク）を通じて、今まで会ったこともない他人とつながり、犯罪に手を染めてしまう。恐ろしい時代になったものだと思います。

子供たちをSNSの危険から守るためにはどうしたらよいのでしょうか？学校では、外部の講師を招いて、SNSの危険性についての授業を行っています。しかしご家庭で子供たちに携帯端末やインターネット環境を与えるならば、保護者の皆様による子供たちを守るための積極的な関与も必要だと思います。

先日ある保護者の方が学校にお電話を下さいました。そのご家庭では、ご自分のお子さんの携帯を定期的に確認しているのだそうです。すると、お子さんの携帯の中に自宅で友達がいたずらをする様子が映っていたのですが、なにやら不自然でした。友達のいたずらをよくないと思って動画を撮ったところ、うまく取れなかったので、その友達にそのいたずらをやり直してもらって、動画に取り直したとのことでした。その保護者の方は、自宅がいたずらされたことを怒るのではなく、悪いと思うことを軽い気持ちで再度やらせたり、動画に撮ったりした、自分のお子さんをきちんと叱り、「こういうよくないことがありましたので、情報共有をいたします。」とわざわざ学校に教えてくださったのでした。お子さんを見守りながら、きちんと指導をされ、さらに周囲の子供のことも心配してくださる姿に、感銘を覚えました。子供は失敗をしながら育つものです。しかしSNSの普及で、失敗が簡単に世界中に知られてしまいます。「しまったと思ったときには、遅かった。」ということにならないように、このご家庭のようにお子さんを見守り、一つ一つのことに対しきちんとご指導されることが、取り返しのつかないようなトラブルに巻き込まれないためには重要だと考えます。子供たちは「ノリ」で簡単にいたずらや興味本位の行動をしてしまうものだというのを忘れずに、「うちの子に限って」と思わずに、お子さんの様子を見守っていただけたらと思います。

学校でもICT機器はなくてはならないものとなりました。子供たちはクラスだけではなく、学年や委員会クラブ活動などでTeamsのチームを作り、その中で学習や会議、動画の作成や編集、プレゼンテーションの作成などを行っています。管理職と担当の教員はそのすべてのチームに入っています。そして子供たちがそのチームの中で書き込む内容はすべて見ることができます。4年前は、不適切な表現や書き込みで、担任から指導を受ける様子も見られましたが、「いつでも先生たちが自分たちを見ている」ということを知っている子供たちは、学校のチームの中で悪いことをするのはなく、前向きなよい学習活動を生き生きと行っています。

大人顔負けの番組を作る児童もいます。「使わせない」のではなく、「よりよい使い方を教え」「見守り」「指導する」ことが使わせる側の責任だと考えます。ご家庭と学校の双方で子供たちの安全を守っていただけたらと思います。

【宮城県気仙沼市立気仙沼小学校の6年生とオンライン交流をする6年生の様子】（写真は昨年度のものですが）

11月1日（金）と12月13日（金）に6年生は気仙沼小学校とオンライン交流をします。4年生も12月13日（金）に大杉第二小学校とオンライン交流をします。



